

A	B	C	D
1			<様式111-1>
2	令和2（2020）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書
3			唐橋児童館
4	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
5			
6	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的な生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	基本的生活習慣の徹底	時間を守るなど、基本的生活習慣が身に付くよう日頃から子どもたちに指導した。
7		子どもの状況把握	子どもの行動状況等の把握については、日々丁寧な見守りを行い、日誌・個別対応記録・会議等を通して職員同士で情報を共有した。また準職員（クラス担当）とのミーティングも週一回定期的に行った。保護者とは、保育懇談会・個人懇談会、日頃の連絡、相談等を通して子どもの状況を共有した。一方、小学校とも子どもや家庭の様子について随時連絡、相談を行った。今後も学童クラブ・保護者・小学校との連携を大切に、子どもが安心して生活できるよう心掛けることが必要である。
8		安全・衛生及び健康管理	毎月一回定期的に、また必要時に、設備や遊具などの安全確認、おやつ提供作業や保育環境の衛生管理点検を行った。改善すべき点はその都度、対応した。健康管理については、子どもの様子を常に目を配り、病気やけがの時は独自に作成した記録用紙を活用し、子どもへの適切な処置と保護者への丁寧な報告を心掛けた。
9		整理整頓・挨拶の励行などの指導	整理整頓については、日々、遊具や持ち物の片付けや整理を子どもたちに声掛けして促した。加えて、その置き場所を明示するなど環境にも工夫した。また、毎週金曜日を「ロッカーそうじの日」とし、自分のロッカーの定期的な整理整頓を指導した。また、紛失防止のため、保育懇談会や学童クラブだよりなどで記名を呼びかけた。が、無記名での落とし物も多数あった。今後も子どもたちが意識向上するように工夫を重ねたい。また挨拶については、登下館時には挨拶をするように子どもたちに指導を行った。子どもたちもある程度習慣となり、挨拶が少しずつできるようになっていった。
10		手洗い・うがい・消毒の励行の指導	おやつ前や外遊び後などには「手洗い・うがい・消毒」の声かけを徹底した。また手洗い場にポスターも掲示した。一方、保護者にもお便りや保育懇談会等で、子どもたちにハンカチを携帯させていただくよう度々協力をお願いした。子どもたちにも習慣づいていた。今後も保護者と連携して声掛け等を徹底していく必要がある。
11		共有物の使い方・片付け方の指導	共有物の使い方や片づけ方については、使い方のルールや片づける場所を掲示し、加えて随時、声かけを行い、子どもたちの意識を高めた。しかし、使い方のルールが守られなかったり、片付けに時間がかかることもあった。今後も、子どもたちが自主的にルールを守ったり片付けができるよう、掲示物や声掛けに工夫を重ねる必要がある。
12		外遊び（小学校のグラウンド）についての指導	平日放課後や、土曜日、長期休暇中の自由遊び時間には、唐橋小学校の運動場をお借りして外遊びを実施した。使用時のマナーやルールの確認は事前に小学校に確認をとり、子どもたちへの指導を行った。子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう今後も継続した指導が必要である。
13		おやつ提供	おやつ提供は、コロナウイルス感染拡大防止のため、小人数の5グループに分けて、順番に行った。子どもたちが楽しいおやつの時間となるように、学童クラブ年度末アンケートの回答も参考にしつつ、内容や提供方法などを工夫した。さらに食物アレルギーなど個別の対応が必要な子どもにも配慮した。また、できるだけ、食べ残しを減らすために、おやつのお皿の盛り付けを随時行った。基本的生活習慣の確立という視点を重視し、手洗いを徹底させたり、食べる態度について声かけなどをした。一方、おやつの保管、食器の取り扱いに至るまで衛生管理を徹底した。今後もより充実したおやつの時間となるよう、改善を重ねる必要がある。
14		登館・下館についての指導	登館時の子どもの出席確認や居残り等での居場所の確認については、学校や保護者と連携をとりながらすすめていくことができた。下館は地域別のグループの集団下館を行った。帰り道で起こるトラブルについては、グループ毎に子どもたちで話し合ったり、保護者と連携をとったりしながら、すぐに対応することができた。帰りの会でも、帰り方についての指導を子どもたち全体に行い、安全に帰る意識を高めていった。長期休みの登館については、保育懇談会で地域毎に保護者同士で話し合い、グループ毎の登館方法を確認した。今後も学校や保護者と密に連携をとりながら子どもたちの安全確保に努めていきたい。
15	下館時の職員見守り	4月からは、集団下館グループに新1年生が加わり、また、進級によりメンバー編成が変わるため、最初の1週間は職員が下館に付き添った。特に「下館ルートを間違えない」「交通ルールを守る」「上級生の役割」について、指導と補助を行った。また、4月期だけでなく、普段の集団下館でも必要な場合は随時、見守りを行い、保護者とも連携し家庭での指導もお願いをした。結果、大きな事故もなく安全に下館させることができた。	

	A	B	C	D
16			熱中症に対する衛生面の管理と指導	夏季は、熱中症指数を参考に、外遊びの回数・時間・遊びの内容を制限した。外に出るときは子どもたちに着帽を義務付け、まめに休憩と水分補給を行った。結果、熱中症児童の発生はなかった。今後も意識して取り組んでいく必要がある。
17			土曜日・長期休暇中の朝学習の実施	土曜日及び長期休業中は朝学習の時間を設定し、一人一台ずつ机を用意し、各自で用意した課題（宿題・ドリル・読書等）に取り組んだ。特に長期休暇中は、クラスごとに部屋を分けて、より学習しやすい環境にした。今後も環境の改善を重ねたい。 一方、平日の自由時間は、特に学習時間は設定しなかったが、育成室・図書室で宿題に取り組む子どもも多かった。しかし、学習する子どもと遊ぶ子どもが同じ空間にいるため、必ずしも落ち着いて学習できる環境ではなかった。
18			夏休み「休息时间」の実施	夏休み中は、子どもたちも疲れやすいため、昼食後に静かに過ごして体を休める休息時間を設けた。1年生は暗くした遊戯室で、体を横にして休息した。その際、お話CDを流したり、読み聞かせをし、落ち着いた環境作りを努めた。一方、2年生以上は、育成室と図書室に分かれて、各自長期休暇中に継続的に取り組む塗り絵やパズル、工作などをして静かに過ごした。適度な休息を取ることで、子どもたちの健康維持に役立った。
19				
20				
21			入会式	例年は、在籍児童も参加して行うが、2020年度はコロナ禍のため、新1年生とその保護者、担当職員のみで開催した。少人数、短時間での開催であったが、入会のお祝いをする事ができた。また、新入生、新入生保護者、児童館職員の顔合わせの良い機会となった。
22			新入生歓迎会	4月に新入生と在籍児童の交流のきっかけとしておやつ時間内での開催を企画していたが、コロナ禍のため、中止となった。代わりに、後日、帰りの会で、新入生の紹介を行った。
23			お誕生日会	クラス別の活動として、年12回、クラスごとのおやつ時間内に行う予定であったが、コロナ禍のため4・5月は中止。6月以降は、コロナ対策として時間や内容を変更して行った。楽しい時間を共に過ごすことで、子どもたちの繋がりを深める事ができた。さらに工夫を重ねて子どもたちが楽しめる会としたい。
24			防災まなびタイム	防災について学ぶ取り組み。年3回。1回目、新入生対象に館内の避難経路等の確認。2回目、水害を想定した避難訓練。3回目、地震防災について学ぶ。コロナのため1回目は中止になった。子どもたちの防災意識を高める事ができた。来年度も継続的に取り組みたい。
25			エコタイム	エコについて考えるきっかけとして、エコ紙芝居の鑑賞やおやつゴミの分別等に取り組む。年6回。子どもたちのエコに対する意識を高める事ができた。来年度も継続的に取り組みたい。
26			みんなであそぼう！チャレンジデイ	年10回開催。「おにごっこ」「ドッジボール大会」「くつとばし大会」など、みんなあそびを通して、子どもたちの交流の輪を広げ、学童クラブとしての仲間意識を高める事ができた。上級生が下級生を助けるという場面もあり、縦割りで交流のきっかけになった。今後も子どもたちが積極的に参加できる企画を取り入れていきたい。
27			3年生の取り組み	夏休み中の休息時間に、3年生の自主性を伸ばす取り組みとして行った。なにをするか自分たちで話し合って決め、長期休暇中ならではの継続的な工作などを行った。またみんなあそび企画の準備と運営も行った。3年生が自主的に取り組むことで、3年生同士の繋がりを強める事ができた。
28	子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	お弁当いらないデイ	長期休暇中（夏休み、冬休み）に4回行った。当初計画では、内2回は、学童クラブ保護者協力行事の予定であったが、コロナ禍のため、協力は中止となり、4回とも宅配弁当になった。子どもたちにとっては、普段のお弁当とは違う内容で、いつも以上に楽しく昼食を食べている様子だった。長期休暇中に実施することで、保護者からは「お弁当作りの負担が軽減し助かる」との声が多数あった。今後も改善を重ねつつ継続的に実施していきたい。
29			大そうじ	例年一般行事として開催している年末の大掃除であるが、コロナ禍のため、学童クラブの取り組みとして当日学童クラブ出席者のみで行った。子どもたちは積極的に掃除をすることができていた。来年度も状況に応じて開催したい。
30			3年生子ども会議	3年生の思い出企画について、子どもたちが主体的に話し合い、内容を決定した。また、しおりづくりや、当日の係も子どもたち自身の話し合いで決めていった。子どもたちの自主性や仲間意識、思いやりを育むことができた。
31			3年生思い出づくり企画	「映画&スライム&ドッジボール」。子どもたちにとって楽しい一日になった。また、子どもたちの自主性や責任感を養うきっかけにもなった。来年度も子どもたち主体で、思い出に残る企画をつくっていきたい。

	A	B	C	D
32			修了式にむけてのとりくみ	修了生は代表を選んで旅立ちの言葉の準備するなどした。一方、在籍児童はコロナ禍のため修了式には参加できないので、記念の壁面づくりに取り組んだ。それぞれの準備を通して、修了式に向けて意識を高めることができた。
33			修了式	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、縮小開催となった。短時間ではあったが、保護者の参加もあり、修了生をお祝いすることができた。来年度も状況に応じて開催したい。
34			入会式にむけてのとりくみ	来年度、入会式で新入生に渡すメッセージカードを作った。学童クラブの繋がりを深めることができた。
35				
36			児童館行事への参加	児童館主催の行事「エコの取り組み」「館外活動」「子ども安全防犯教室」「子ども防災フェスタ」「子ども防火教室」などに参加することで、自由来館児童や地域の方と交流したり、日々の生活では得られない経験を得ることができた。その他では、各種あそびの取組・大会（オセロ・マンカラ・こま）に参加した子どもたちは継続して取り組むことで、大会終了後も普段の遊びへとつながっていた。
37			クラブ活動への参加	児童館が主催するクラブ「おもしろ研究所」「将棋クラブ」「オニムクラブ」「けん玉クラブ」「卓球クラブ」に参加することで、遊びの技術の向上、自由来館児童との交流、遊びの幅の広がりといった成果があった。
38				
39				
40	子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク	保育懇談会	保育懇談会は、各クラス年4回の開催予定で行った。ただし、第1回と第4回はコロナ禍のため中止。資料配布のみとなった。スライド上映では、学童クラブだより「からっこ」では伝えきれないことも直接、写真を見て保護者に伝えられたので、好評であった。長期休暇前（夏・冬）には、地域別集団下館班ごとに話し合いを行い、子どもの登下館ルートなどについての確認、情報共有ができたのでよかった。また、第3回の懇談会では、意見交換を行い、保護者からの生の声をその場で聞くことができたと同時に、保護者同士の繋がりが深めることができた。一方、第2回と第3回では都合により欠席された方を対象に、臨時保育懇談会を設定した。出席者を増やす工夫が必要である。
41			登録前説明会	新年度から学童クラブを新規登録する保護者を対象に行った。学童クラブの様子や内容のみならず、自由来館児童と学童クラブ登録児童の違いや保護者の行事協力などの説明を詳細に行い、登録前に学童クラブ登録についての検討していただける場になってよかった。また、申請書類についての記入の仕方と注意点を伝え、疑問点も提出前に解消できたのでよかった。
42			入会説明会	コロナウイルス感染拡大防止のため、学童クラブに新規登録する保護者を対象に3回に分けて行った。資料の説明だけでなく、スライド上映で学童クラブの様子を見てもらうことで、より分かりやすく保護者に伝えることができた。保護者同士、また職員と保護者が連携を図るきっかけとなった。一方、継続申請の家庭には資料を配付した。
43			個人懇談	保護者と各クラス担任で、学童クラブ・家庭・学校での子どもの様子について個人懇談をおこなった。学童クラブでの様子については、事前に職員間で幅広く情報を集め、保護者に伝えた。保護者と一対一で話し合う大切な機会であり、保護者と学童クラブの相互理解をさらに深めることができた。また懇談後はその内容を職員全員で共有することで、子どもに対する理解を深め、保育に活かすことができた。定期的に行っている個人懇談以外にも、保護者との連携が必要な児童に対して、個別に時間を設定して懇談を行った。保護者にとっては、クラス担任とじっくりと話せる機会となり、懇談内容は職員同士でも情報を共有し、日々の保育に活かせたので良かった。
44			利用者共通アンケート実施	学童クラブ登録児童とその保護者から行事や取組、日常生活についての意見や要望を知る機会となった。事業内容の見直しや改善の参考とした。
45			学童クラブ年度末アンケート実施	学童クラブ登録児童とその保護者から行事や取組、日常生活についての意見や要望を知る機会となった。また、アンケート回答から意見や要望を汲み取り、事業内容の見直しや改善を行った。今後も継続的に実施することとする。
46			小学校との連携	定期的に小学校とのおたより交換を行った。また、保護者や子どもへの対応について、随時連携をとりながら進めることができた。日常においても、学校の遊具使用のルールや、下校時間などについては、随時、連絡をとり、気軽に相談できる関係性をもつことができた。さらに「放課後居残り伝言カード」を活用し子どもの状況把握に役立てた。今後は担任の先生方との懇談の場を持つなど、より連携を深めていきたい。

	A	B	C	D
47			連絡帳の活用	毎日一人ひとりの連絡帳をチェックすることで、保護者からの連絡事項を漏らさず受け取ることができた。また、職員からも連絡事項を伝えたり、保護者から伝えられたトラブルなどへの対応や詳細についての報告も行い、日常的に保護者との連携を持つことができた。加えて、配付物や提出物のやりとりにも活用した。一方、子どもには連絡帳忘れがないように随時指導を行い、保護者にも保育懇談会等でその旨をお知らせしているので、提出率は昨年度と比べて高かった。しかし、ランドセルに入れっぱなしで保護者に連絡が伝わっていなかったり、逆に持ってきても提出がなく、保護者からの連絡を見落とすという場面も一部あったので、子どもたちに提出を徹底させる工夫も必要である。
48			学童クラブだより「からっこ」の発行	毎月の行事や取組についての案内や、子どもたちの様子を伝えていくことができた。また、クラス別（つき組・ほし組・そら組）に発行したことで、クラス別の取り組みを意識づけることができたので良かった。夏休み終了後には、毎月の発行分とは別に、夏休み期間の子どもの様子についてを伝えるために写真を多く使った「夏休み特別号」を発行した。今後とも毎月の行事だけでなく、子どもたちの成長を感じられるような紙面を作成していきたい。
49				
50				

令和2(2020)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

唐橋児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
生活援助機能															
基本的生活習慣の徹底	毎日														時間を守るなど、基本的生活習慣が身に付くよう日頃から子どもたちに指導した。
子どもの状況把握	毎日														子どもたちの出欠確認・健康状態などを職員で確認した。必要時には保護者・小学校に問い合わせし、子どもたちの状況の把握を行った。
安全・衛生及び健康管理	毎日														定期的に設備や遊具などの安全点検・衛生管理点検を行った。また、子どもの様子に常に目を配り、安全・衛生及び健康管理に努めた。
整理整頓・挨拶の励行などの指導	毎日														各自の持ちものやロッカーなど整理整頓を心掛けるよう指導した。また、日頃の言葉使い、挨拶についても随時指導した。
手洗い・うがい・消毒の励行の指導	毎日														習慣づけのため、場面ごとに職員から「手洗い・うがい・消毒」の声かけを行った。また、おやつの前には館内放送でも毎回注意喚起を行った。
共有物の使い方・片付け方の指導	毎日														共有物や遊具・備品を大切に使うように随時、指導を行った。また子どもたちが片づけ・整理整頓がしやすいよう、写真や掲示で片づけ方を明示するなど工夫した。
外遊び(小学校のグラウンド)についての指導	毎日														例年、放課後の自由遊び時には唐橋小学校のグラウンドと遊具をお借りして外遊びを実施している(但し、今年度はコロナ禍のため遊具の使用は禁止)。使用時のマナーやルールについて子どもたちへの指導を行った。
おやつ提供	毎日														毎日楽しく美味しいおやつとなるように、その内容や提供方法を工夫した。また、補食という観点から、食べる量などを調節しての食育指導を行った。
登館・下館についての指導	随時														お帰りの会等で随時、交通ルール・登下館のルールについて子どもたちに指導を行った。必要時には保護者と連携し、安全指導の強化を行った。
下館時の職員見守り	随時														新入生を含めた新しいグループでの集団下館がはじまる4月当初の一週間は、職員が各グループに付き添い、見守りを行った。またそれ以降も、必要時には付き添い・見守り指導を随時行った。
熱中症に対する管理と指導	随時														夏休み期間中は、熱中症を予防するため、子どもたちに休憩を取ることと水分補給をこまめに行うことを指導したり、おやつ時に塩分補給タブレットの提供をおこなった。
土曜日・長期休暇中の朝学習の実施	随時														土曜日および長期休暇中など、朝からの保育の場合、全員で勉強・読書を行う時間を設定した。
夏休み「休息时间」の実施	随時														夏休み期間中、静かに体を休めるための休息時間を設定した。1年生は暗くした部屋にゴザを敷き、身体を横にして休んだ。2年生以上は別室で、取り組みを行った。



